

支援業務諮問委員会（第14回）議事概要

1.開催月日 平成22年9月15日（水）14：00～15：00

2.場 所 社団法人電気通信事業者協会 第2会議室
（東京都港区西新橋1-1-3 東京桜田ビル4F）

3.出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

小椋敏勝、齊藤忠夫（委員長）、鈴木良之、関口博正（副委員長）、長尾毅、中川裕、
西尾武、平澤弘樹、弓削哲也 以上9名
（欠席 加藤薫、河村真紀子、久保忠敏 3名）

【社団法人電気通信事業者協会】

井筒郁夫、岸忠信（支援業務室長）

4.議事

（1）審議事項

- ・番号単価の算定
- ・新番号単価の適用の時期
- ・交付金の額及び交付方法の総務大臣への認可申請
- ・負担金の額及び負担方法の総務大臣への認可申請

（2）報告事項

- ・平成21年度収支決算（支援業務関係）
- ・周知広報活動の実施状況
- ・支援業務に係る当面のスケジュール

5.議事要旨

委員長

（開会宣言。事務局に、出席状況の報告方指示）

事務局

（諮問委員12名中9名出席で定足数を充たしており本会議は有効に成立している旨を報告）

（委員長の指示により、配布資料の有無を確認）

委員長

それでは、審議事項 1 の番号単価の算定について事務局から説明願います。

事務局

(資料 1 に基づいて、番号単価の算定方法について説明)

委員長

引続き審議事項 2 の新番号単価の適用の時期について事務局より説明願います。

事務局

(資料 2 に基づき新番号単価の適用時期について説明)

委員長

それではただいまの説明内容について、ご意見ご質問等ございませんか。

今年の合算番号単価は 6.58 円を四捨五入して 7 円ということですね。NTT 東日本が 4.191219125075 円で NTT 西日本が 2.80874925 円で、この NTT 東西の番号単価を足すと 7 円になるということですね。

事務局

合算番号単価は整数で四捨五入しますので 7 円となります。NTT 東日本と NTT 西日本の番号単価はこの 7 円をそれぞれの補てん対象額で案分して小数点以下 8 位未満を四捨五入します。

委員長

その他ご意見ご質問等ございませんか。

もしよろしければ、この内容で取り運ぶこととします。

続けて諮問事項の 3 件目及び 4 件目の説明を、併せてお願いします。

事務局

(資料 3 に基づいて、交付金の額及び交付方法の総務大臣への認可申請について、資料 4 に基づき負担金の額及び徴収方法の総務大臣への認可申請について、を説明)

委員長

数値は、資料 1 で説明いただいた数式に基づいて算出されているということですね。

何かご意見ご質問等ございませんか。

(意見、質問等なし)

それでは、この資料3資料4のとおり認可申請するということによろしいでしょうか。

以上で諮問事項が終了しましたので、今お配りいただいている答申書案についてご意見、ご質問はございませんか。

(意見、質問等なし)

それでは、この内容で答申することといたします。

続きまして、報告事項3件についてまとめて事務局から説明願います。

事務局

(資料5に基づいて平成21年度収支決算について、資料6に基づいて周知広報活動の実施状況について、資料7に基づいて支援業務に係る当面のスケジュールについて報告)

(意見、質問等なし)

委員長

以上で、第14回支援業務諮問委員会を終了します。ありがとうございました。